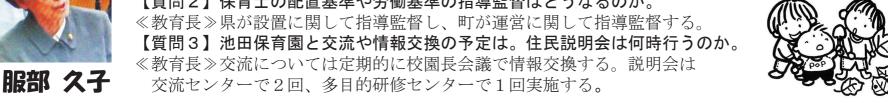
1. 旧会染保育園の民間保育事業について問う

【質問1】民間保育園の保育料・保育時間・給食の調理や食物アレルギー対応はどうなるのか。

≪教育長≫ 保育料は公立保育園と同じ。保育時間は午前8時~午後7時(最大)。自園給食で、食物 アレルギー対応をする予定。3歳以上の副食費は、今後に無償化を検討する。

【質問2】保育士の配置基準や労働基準の指導監督はどうなるのか。



2. 補聴器購入の補助を求める

【質問1】高齢者補聴器購入補助は全国464自治体で実施し、大町市や松川村も実施して いる。池田町は大北地域で高齢化率が高い。補聴器購入の補助を求める。

≪課長・町長≫近隣の市町村の動向を注視する。



3.近視の児童・生徒に対して町の対応を求める

【質問1】令和6年の小中学校の視力検査(眼鏡着用)結果は、視力1.0以上は428人、視力0.9~0.7は43人、視力0.6~ 0.4は69人、視力0.3以下は43人だった。視力0.9以下の児童に対して保護者と担任と養護教師の連携はとれているか。 ≪教育長≫視力0.9以下の家庭に受診を勧めている。

【質問2】就学援助受給の小中学生は60人だが、眼鏡の対応はしていない。受給世帯の対応は必要と考えるが。

≪町長≫ 昨年度は給食費無償化をし、今年度は医療費無償化をする。眼鏡購入補助は考えていない。

4.自衛隊への個人情報提供のについて町の状況を聞く

【質問1】自衛隊から情報提供の依頼はいつか。提供人数は何人か。

≪課長≫依頼は5月16日。提供人数は18歳の除外申請1名を除く84名である。

【質問2】昨年末、情報提供中止を求める署名で、町民から提供に対する不安な声が多くあった。ロシアやイスラエルが 戦争をしている。日本も軍事予算を拡大し、学問の自由を制限する日本学術会議法人化法案を成立させた。町民の不安 に町長はどう応えるのか。

≪町長≫情報提供に関する住民の不安について地方自治体として真摯に受け止めており、除外申請で不安軽減につながっ ていると思っている。

1. 実践的な「避難所開設・運営訓練」の実施を

【質問1】 避難所運営マニュアルでは避難所の開設は町職員が行うことを基本とし、地域住民もでき るとしている。各避難所ごとに開設を行う職員や地域住民は決まっているのか。

≪町長≫避難所の開設は学校保育課・生涯学習課で行うことになっている。開設する地域住民は決ま っていないが、早期に自主防災会長と希望する施設管理者との顔合わせを行いたい。

【質問2】生涯学習課での避難所開設の取り組みはどうなっているか。

≪課長≫ 生涯学習課正規職員数は4名であり、不安である。危機管理室と連携し対応していきたい。

【質問3】実践的な「避難所開設・運営訓練」の実施して欲しいが。

≪町長≫日本防災士協会長野県支部と連携し、来年度から各避難所に 多くの方が参加する実践的な「避難所開設・運営訓練」を実施する。



すい季彦

2. 町民の健康課題への取り組みは

【質問1】池田町は県内の同規模人口町村のなかで糖尿病にかかっている割合が一番高く、子どもからお年よりまで糖尿病 予備群も多い。その原因と対策は。

≪課長≫原因は栄養バランスのよい食事をしている方が減少していることが大きい。対策は栄養バランス食を知らせ、自分 の体に合った食品を選択できるようにし、健診受診率を上げたい。また、糖尿病、糖尿病予備軍の喫緊な課題の解決につ ながるチラシを作成し、地域に出向いての説明会を行っていきたい。

【質問2】食物中のカリウム(野菜など)を多く摂ることは体内のナトリウムを排泄するので高血圧症・糖尿病の予防に役 立つ。体内のナトリウムとカリウムの比(以降、ナトカリ比)と尿中のナトカリ比とほぼ同じと言われている。宮城県登 米市では七年前から特定健診時に尿中のナトカリ比を測定し、健康指導に活かした結果、高血圧の数値が低下している。 当町でも健康指導に尿ナトカリ比の活用を。

≪町長≫一回の尿データーの値では誤った保健指導になる恐れがあり、研究課題とする。

【意見】日本高血圧学会の3年間の一回尿によるナトカリ比の大規模実証試験でも効果が確認 されている。更なる検討をお願いしたい。

3. 実行できる人口減少対策から実施を

【質問1】町ホームページトップ画面から「ふれあい農園」・「遊休農地」につながる措置を。 ≪町長≫早期に形にしたい。

【質問2】各課での人口減少対策アクションプランを策定し、明文化して欲しい。

≪町長≫明文化よりも人口減少対策の手を早く打つことが大切であり、今回も幾つかの対策を打ち出した。施政方針がアク ションプランと思っていただきたい。

【意見】町長は、人口減少対策には行政・議会・町民が力を合わせることが必要と言った。明文化したものがなければ力を 合わせることはできない。明文化は必要である。